

【日程】 令和7年9月4日(木)～6日(土)

【参加者】 親交会会員/19名(15事業所)

【目的】 国際フロンティア産業メッセ 2025にて先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示の視察と55年ぶりとなる大阪でのEXPO2025を視察して参りました。

【研修報告】

1. 国際フロンティア産業メッセ 2025

「国際フロンティア産業メッセ」は、兵庫県と神戸市が中心となって開催している、西日本最大級の産業総合展示会

- 開催目的: 企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や、新事業創出の基盤となる製品展示を通じて、技術交流やビジネスマッチングを促進する機会の提供を目的
- 基調講演: 「バイオ・デジタル融合によるバイオものづくり革命の推進」 近藤昭彦氏
これまで注目されていなかった未利用資源（バイオマス）や厄介者のCO₂を有効利用し、持続可能な社会を実現するための革新的技術「バイオものづくり」の研究が進んでいます。そのカギを握るのは、我々の目には見えない微生物のパワー。この講演では、「バイオものづくり」のトップランナーである（株）バックス・バイオイノベーションの近藤昭彦 CEOにより、微生物の力を借りて、バイオマスやCO₂から燃料やプラスチックを生み出す夢のような技術や産業化の最前線を知ることができました。
- 展示会では、500を超える企業や団体が出展しており、モビリティ、宇宙、バイオ、DXなど、多岐にわたる分野について最新の技術や製品体験をしました。
- イージーリフト(画像左下)は、「現場の腰痛ゼロ」をキャッチコピーに掲げ、重たい荷物を女性でも軽々と移送することができ、人手不足が深刻化する現代に、本町も例外ではなく、将来的に様々な業務において大きく貢献できるシステムであり、感銘を受けました。
- 4足歩行型ライド「SR-02」(画像右下)は、世界初の4人乗り4足歩行ロボットとして2022年10月に完成。車輪型ロボットとは異なり、凸凹のある路面など不整地での移動に優れる特性を持つため、将来さまざまな現場での活用が期待されています。



2. 2025年大阪・関西万博

「大阪・関西万博」は、1970年の大阪万博以来、55年ぶりとなる大阪での大規模な国際博覧会概要は以下の通りです。

・開催概要

- ・ テーマ: 「いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)」
- ・ サブテーマ: 「Saving Lives (いのちを救う)」、「Empowering Lives (いのちに力を与える)」、「Connecting Lives (いのちをつなぐ)」
- ・ 会期: 2025年4月13日(日)～10月13日(月) ※184日間
- ・ 開催場所: 大阪 夢洲 (ゆめしま)

- ・ コンセプト: 「未来社会の実験場 (People's Living Lab)」として、世界中の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場を目指す。

1970年の大阪万博とは異なり、国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた重要な年である2025年に開催されることから、SDGs達成のためのプラットフォームとしての役割も期待されている。

- ・ 視察当日の入場者は16万人との事で入場するまで約20分、既に各パビリオンは長蛇の列、見学を予定していたTECH WORLD、電力館、住友館の事前予約抽選に外れたため、視察できませんでしたが、予約なしで入場できるパビリオンのうち、2か所のパビリオンを見学しました。会場では世界各国の様々なパビリオンやイベントが開催されており、万博の雰囲気や優れた技術に触れることができました。(パビリオン詳細別紙)



	月日(曜日)	行 程	朝	昼	夕
1	9/4 (木)	JAL570便 帯広空港 10:00 JAL117便 羽田空港 11:45 貸切バス 伊丹空港 12:30 13:35 ===神戸国際展示場(国際フロンティア産業メッセ)=== 14:50~16:30 三宮 17:00	×	お弁当	神戸市内
2	9/5 (金)	貸切バス 三宮 8:30 =====大阪・関西万国博覧会(視察)===== 10:00~15:00 大阪 16:00	ホテル	×	大阪市内
3	9/6 (土)	貸切バス 大阪 8:30 =====大阪城===== 9:20~10:30 海遊館(中止) 11:00~12:10 JAL120便 伊丹空港 14:25 JAL579便 羽田空港 15:40 帯広空港 17:30 19:15	ホテル	×	×